

大明化学工業株式会社



アルミニウム化合物合成
技術を応用し無機化学製品
でトップシェア

長野県
上伊那郡南箕輪村3685-2

1946年(昭和21年)設立
TEL 0265-72-4151

代表取締役
宮澤 琢磨

<http://www.taimei-chem.co.jp>

アルミニウム化合物の自社固有技術をベースに、製品の多用途化により時代ニーズを先取りし、大企業も真似できない独創的で高品質の無機化学製品を開発、製造することで、現代社会に貢献。

高品質を誇る多様な無機化学製品群

設立以来、大企業にも勝る高品質、ニッチでも社会的存在価値のある製品づくりを追求し、絵の具やクレヨンの体質顔料に使用されるアルミナホワイト、食品添加物の原料で製菓膨張剤等に使用されるミョウバン、ファインセラミックの原料となる高純度アルミナ粉体、水道水の浄化剤として東京都等に供給するポリ塩化アルミニウム等、独自に開発した数多くの無機化学製品の中には、国内市場で60~90%の高いシェアを有するものもある。

独自製品の多用途化

好不況を問わず長期に渡り安定的な成長発展を遂げるためには、自社固有技術の蓄積と、それを活用した独自製品の開発が不可欠として、大学、工業試験場等とも連携し、アルミニウム合成技術をベースに数々の派生商品を生み出し事業化を果してきた。例えば、浄化剤に用いられるポリ塩化アルミニウムを応用した高純度ポリ塩化アルミニウムは、医療品・化粧品等の分野に用途を拡げており、更にそこから機能的な新素材であるアルミナ繊維を開発し、現在微細バリ取り、表面仕上げに欠かせない研磨砥石として、国内外の大手部品メーカーで採用されるなど、技術力と併せ製品の事業化に優れている。

永続・安定経営を目指して

企業の目的は、顧客・従業員・株主・社会のためという明確な経営理念のもと、企業の永続・安定を重視し、研究開発・人材投資に経営資源を重点的に振り向けてきた。また大企業にも質的に劣らぬ良品を社会に提供する上で、品質管理の強化に早くから取り組み、昭和28年にJIS表示優良工場として表彰され、その後も品質管理・労働衛生管理面で数々の賞に輝いている。

